

もっと知ろう、世界遺産



「鎌倉大仏の 歴史的意義」

～世界遺産としての位置付け～

しみずますみ

講師：清水眞澄氏 (成城大学学長)

専攻：東洋・日本美術史、特に彫刻史の研究。大学卒業後、神奈川県立博物館学芸員を経て、成城短期大学教授及び同学長を歴任され、2007年4月から成城大学学長に就任、現在に至る。2005年10月に開設した三井記念美術館館長に就任。「鎌倉大仏(有隣堂)」、「鎌倉の仏像文化(岩波書店)」、「仏像の人と歴史発見(里文出版)」など著書多数。

海外の専門家を招いた国際シンポジウムも終了し、鎌倉の世界遺産登録に向けた着実な取り組みが進む中、候補資産の一つに挙げられている鎌倉大仏について、その歴史的意義や武家の古都・鎌倉との関わりをお話しいたします。

—— 当日のプログラム ——

- ・ 鎌倉世界遺産登録推進に向けての中学生作文コンクール最優秀賞者による作品発表
- ・ 神奈川県立鎌倉高等学校の生徒による「武家の古都・鎌倉」の研究発表
- ・ 成城大学 清水眞澄学長による講演「鎌倉大仏の歴史的意義～世界遺産としての位置付け～」
- ・ 鎌倉市教育委員会文化財課 福田 誠さんによる鎌倉大仏殿跡の発掘調査の成果発表

平成21年4月18日(土)13時30分～16時30分(開場13時)

鎌倉商工会議所地下ホール(先着150名)定員になり次第、締切らせていただきます。



はがき、FAX、Eメールにて 氏名 住所
連絡先を記載の上、お申込みください。

お申込み先

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

鎌倉世界遺産登録推進協議会事務局「4/18講演会」係
電話(0467)23-3000 内線2674 FAX(0467)23-1085

E-mail sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp